

あったか便り

あったか倶楽部のみなさんと利用の子供達は同じ時間をあったかほ一むで過ごす中で、あったか倶楽部の人々が子供の世話をしてくれたり、遊んでくれたりとお互いが思いやり、あったかほ一むのあったかい形が少しずつできてきています。

あったかほ一む いしべ宿の風景 NPO事務局 瀬古 隆

みんなおいでやコンサートが雨山研修館であったその日の午後、恒例の余暇活動「ワイワイ」がカレー作りなどを活動メニューとして「あったか」で行われた。なんてんで働くヤマモトさんがソファでくつろいでいると、お隣にあるお年寄りのグループホーム「わいわい」のカクタニさんとマツオさんのお二人が来られた。しばらくして「ワイワイ」のボランティア出身で「わいわい」の最古参スタッフとして奮闘するウスイさんが最高肺活量で膨らました風船を使って、三人でバレーボールが始まった。手足にマヒがあるヤマモトさんと大正パワーのお二人とのペースはぴったり。和やかな時間がしばし流れた。

グループホームホワイトハウスで暮らすタナカさんが、この日珍しく顔を見せた。あったかほ一むの会員になったにもかかわらず、あまり「あったか」に立ち寄らない。本人いわく「子供が苦手だから」ということであるが、月会費の1,000円にも原因の一端があるようだ。月会費のうち一部は、直接本人の手から払ってもらっている。「あてがいぶち」ではなく、自己選択、自己責任という当たり前の暮らしに近づけたいという思いを込めて、自払い方式を続けている。何でも「タダ」という特別扱いは、知らず知らずに彼らを特別な存在へとおしやってしまう。。

「あったか」は、NPOと地域とをつなぐ大切な「窓口」である。各グループホームには、宿直の「寝だけボランティア」を地域の方々をお願いしているが、やはり自己完結的なところが多分にある。子育て支援をはじめとして余暇支援、多世代交流の場として、「あったか」を地域の方々に利用して頂き、関わって頂く事を心から望んでいる。「あったか」は、ここを必要とする人のための場であり、使って「なんぼ」のものだ。嬉しいことに、会員をやめようかと迷っていたタナカさんが「ワイワイ」のカレー作りの翌日も来てくれた。

子育てサロン、子育てサークル、あったか倶楽部会員、利用者大募集

H君のキャンパス

あったかほ一むの大きなホワイトボード。。。それがH君のキャンパスです。その大きなホワイトボードで、いろいろな絵を描き、やがて字を書き、絵と字がつながりH君独自の作品が生まれます。キャンパスはH君の自己表現の場であり、意思表示の場でもあります。H君がのびのびと自分の世界を表現できるように見守っていきたいです。



夏休み期間7月20日(水)～8月31日(水)は毎日OPEN致します。夏休みのみの学童と一時利用を受け付けています。

あったか 実施サービズ

<子育て支援>

親子サロン・幼児一時預かり・学童保育

<シルバー生きがい支援>

シルバーボランティア・高齢者による子育て支援

<余暇かつどう支援>

あったか倶楽部

飛翔予感のアーティスト

木村 佑介さん

高齢者グループホームわいわいでスタッフとして活躍しています。独特の素晴らしい感性でこつこつと絵を描かれています。



あったか夏祭り開催 8月7日(日)16:00～ 予定出店やいろいろな企画を考えています。みなさんお誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

(雨天中止)

くわしくは、スタッフまで お問い合わせ下さい
昼食はご用意します

夏休みのみも大歓迎

ボランティア募集

あなたのご協力と熱意をお待ちしています

